

今号の 八尾プレ

読者アンケートにご協力いただいた方の中から
抽選で7名さまに、株式会社SHARP COCORO LIFE
「シャープクリスタルマスク」をプレゼント!

7名
さま



顔にフィットするのに、
口もとに空間ができて快適です!

シャープ
クリスタルマスク
(5枚入)



商品詳細
はこちら

取締役副社長
佐伯和裕さん



▼読者アンケートはこちらから! (2022年8月31日締め切り)



左の二次元コードを読み取って、読者アンケートにお答えください。
当選結果は景品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

※読者アンケートは、八尾市観光協会の
WEBサイトからもご回答いただけます。

八尾市観光協会

検索

今回の八尾プレをご提供いただいた「株式会社SHARP COCORO LIFE」様の取材記事はP10・11へ

五感で楽しむ体験プログラム



「大阪満喫! 遊覧飛行ツアー」
をプレゼント!

1名
さま



思い出づくりに!



大阪の観光名所や世界遺産、2025年万博会場予定地を、空の上から訪問

開催日 2022年10月22日(土) 13:00~

※当選は1名様ですが、飛行機には最大3名様まで搭乗可能です
※本キャンペーンの応募規約は観光WEBでご確認願います

八尾空港の有効利用に関するアンケートは
▼こちらから! (2022年9月30日締め切り)

右の二次元コードを読み取って、アンケートにお答えください。
当選結果は景品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。



詳細は、こちらの「八尾物語パンフレット」をご確認ください!▶
<お問い合わせ>
一般社団法人 八尾市観光協会



新Next Yaomania

新Next Yaomania 大阪・八尾の地域観光情報誌

TAKE FREE

Yaomania

【シン・ネクスト・ヤオマニア】2022年 夏号 Vol.44



今号の表紙: JR八尾駅

もくじ

とびら | 真夏のなんてったってクーポン 02~05 | 巻頭スペシャル企画「JR八尾駅」
06・07 | 新生! リニューアル「八尾市文化会館」 08 | YAO NEWS「八尾空港有効利用研究会」
09 | YAO NEWS「八尾河内音頭まつり」 10・11 | 八尾プレ企業訪問「株式会社 SHARP COCORO LIFE」
12 | 八尾の情報館「八尾市ふるさと納税」 13・14・15 | 体験企画「KSK/河内庵/ケーワールドism」
裏表紙 | 八尾プレ「シャープクリスタルマスク」/八尾物語「大阪満喫! 遊覧飛行ツアー」



新Next Yaomania(シン・ネクスト・ヤオマニア)2022年 夏号(通算Vol.44) 発行日:2022年(令和4年)7月10日 発行部数:8,000部 企画・編集:株式会社シカトキノ
発行:一般社団法人八尾市観光協会 〒581-0802 大阪府八尾市北本町2-1 ベントプラザ20号 TEL 072-997-6226 http://www.yaomania.jp

Next 大阪・八尾の地域観光情報誌
八尾市内で使えるお得なクーポンがずらり!

なんてったってクーポン

実施期間 2022年7月10日(日)～8月31日(水)

※クーポンの使用はおひとりさま1回限りです
※クーポン内容により有効期限が違うものがあります
※状況により営業時間や休業日が変更になる場合があります

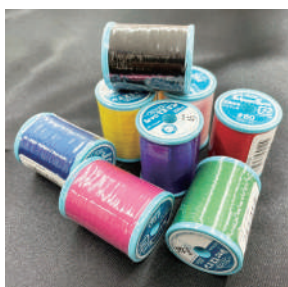
おしゃれ服地と学生服・
ビジネスユニフォームの

タケヒロヤ

済

生地を3,300円(税込)以上お買上げで

ミシン糸1コ
プレゼント
(60番200m巻)



八尾市本町5-5-25
営: 9:30～19:00 / 休: 水曜
☎ 072-992-4781

有効期限 2022年8月31日(水)

パリ洋品店

済

店内帽子
全品半額

八尾市本町5-4-16
(ファミリーロード中央)
営: 10:00～19:00
休: 水曜
☎ 072-922-2927



有効期限 2022年8月31日(水)

八尾市内で使えるお得なクーポンがずらり!

なんてったってクーポン

実施期間 2022年7月10日(日)～8月31日(水)

※クーポンの使用はおひとりさま1回限りです
※クーポン内容により有効期限が違うものがあります
※状況により営業時間や休業日が変更になる場合があります

料亭 山徳

済

店内お食事の方
料理長の
おまかせ
小鉢一品
サービス



八尾市本町4-3-28
営: 11:30～13:30、17:00～21:30
休: 予約により変更 ☎ 072-992-2014

有効期限 2022年8月31日(水)

かもじや リノアス店

済

本クーポンご提示で
お肌に合わせた
スキンケア
サンプル
プレゼント!

※資生堂・コーセー等のブランド
八尾市光町2-60(リノアス1階)
営: 10:00～20:00 / 休: なし
☎ 072-997-1200



有効期限 2022年8月31日(水)

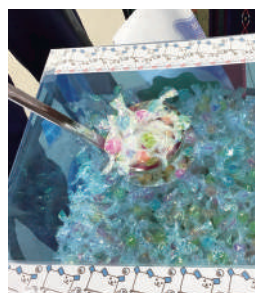
コンペイトウミュージアム八尾

済

プレミアム金平糖工房を
体験していただいた方に
コンペイトウすくい取り
1回サービス

※1グループ1名様限り
※当日限り有効

八尾市若林町2-88
営: 9:00～17:00
休: 盆休み、年末年始
☎ 072-948-1339



有効期限 2022年8月31日(水)

プリザーブドフラワースタジオF

済

プリザーブドフラワー
レッスン講習代
3,000円(税込)が
2,000円(税込)

※別途 材料費
使用分の3割引!

八尾市東山本町7-1-27
営: 9:00～15:00 / 休: 火・水・木曜
☎ 090-9867-6953(要予約)



有効期限 2022年8月31日(水)

ダイワサイクル (八尾店・八尾北店・青山店)

済

電動自転車
ご購入で 3,000円引(税込)
22,000円(税込)以上の
一般自転車ご購入で 1,000円引(税込)

※本券はダイワサイクル八尾店・八尾北店・青山店でのみ有効 ※本券は自転車本体にのみ有効です。※他割引・値引サービスとの併用はできません。※本券ご利用につきましては現金払いのみをお願い致します。※一部対象外商品がございます。

八尾店 八尾市本町7-1-9
営: 10:00～20:00 / 休: 12/31・1/1のみ / ☎ 072-991-9798
八尾北店 八尾市楠根町4-34-14
営: 10:00～20:00 / 休: 12/31・1/1のみ / ☎ 072-993-1128
青山店 八尾市高美町5-52-123
営: 10:00～20:00 / 休: 12/31・1/1のみ / ☎ 072-925-1008

有効期限 2022年9月30日(金)

フライパンヴィレッジ (藤田金属)

済

店内全商品
お会計から 10%OFF



八尾市西弓削3-8(藤田金属株式会社)
営: 9:00～17:00 / 休: 土・日曜・祝日 / ☎ 072-949-3221

有効期限 2022年8月31日(水)

メガネのオオクマ

済

メガネ一式 3,278円(税込)
以上を2本お買い上げで

500円引(税込)

メガネ一式15,400円(税込)
以上をお買い上げで

1,000円引(税込)

八尾市高美町1-3-22
営: 9:30～19:30 / 休: 木曜・第3水曜
☎ 072-992-7047



※駐車場あり!

有効期限 2022年8月28日(日)

炭火焼鶏 最上

済

店内飲食の方、
最初の
1ドリンク
サービス

八尾市本町5-8-21
営: 17:00～23:00
休: 日曜
☎ 072-999-1118



有効期限 2022年8月31日(水)

可緋処 雪人

済

コーヒー豆焙煎体験教室

通常価格4,000円(税込)

500円引(税込)

※毎日17:30頃開始、
1日1組限定(要予約)
※約400g(約2,000円分)の
コーヒー豆を持ち帰れます

八尾市深川町6-3-29
営: 12:00～17:00 / 休: 不定休
☎ 072-943-2774



有効期限 2022年8月31日(水)

Lis Café (リスカフェ)

済

700円(税込)以上のご飲食で

お会計から
10%
OFF

八尾市安中町6-2-20-103
営: 9:00～17:00 / 休: 日曜・祝日
☎ 070-1850-1818



有効期限 2022年8月31日(水)

あなたの知らない「八尾駅」



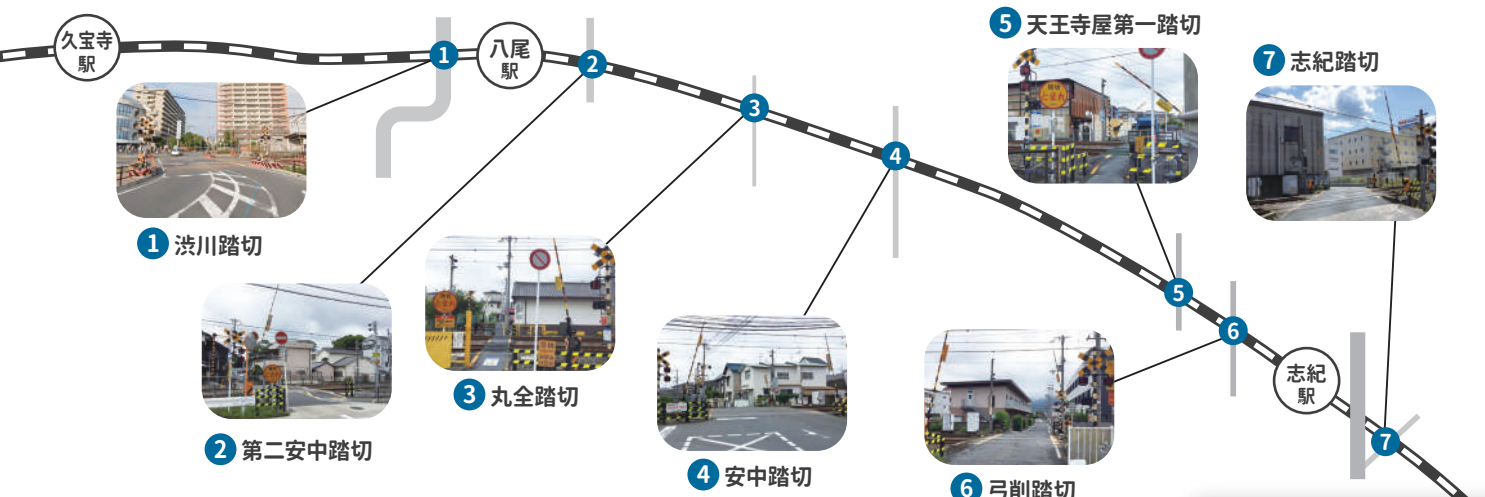
宮本忠明 駅長

通勤や通学に、お出かけや買い物に、八尾市民にとってなくてはならないJR八尾駅。2020年3月にはおおさか東線が開通し、久宝寺駅乗り換えて新大阪駅へのアクセスもスムーズになりました。コロナ禍で観光需要は低減しましたが、そろそろ規制緩和の兆しもあり、2025年の大阪・関西万博に向けて盛り上がり期待されます。そこで今回はJR八尾駅にお邪魔して、「八尾駅管区ならではの」魅力取材!知られざる逸話や魅力をたっぷりご紹介します。

その1

八尾駅管区は踏切が多い!!

JR西日本大阪支社内の中でも特に踏切が多い八尾駅管区。八尾市内だけでも7か所、八尾駅管区全体ではなんと21か所もあります。踏切が多いということは、線路内への立ち入りや立ち往生などのトラブルが起きる可能性も高いということ。「この1年でも2回、お客様が線路内に立ち入られる事象がありました。お客様から連絡を受けて直ちに改札にある非常ボタンを押し、列車を止めたため、お客様との接触を避けることができました」と宮本忠明駅長。踏切が多い八尾駅管区だからこそ、安全を守る努力が重要。そのために、八尾駅管区ならではの2つの取り組みを行っています。



その2

八尾駅管区の歴史はとにかく古い!!

近代的な駅舎が印象的なJR八尾駅ですが、開業は1889年(明治22年)5月14日。2022年で133年を迎える、とても歴史のある駅です。覚えている方も多い旧駅舎は、大正2年(1913年)の建造。改札口からホーム直結でしたが、列車の大型化が進んだことによってホームが高くなり、ホームに向かって少し斜めに登るような形状になっていました。旧駅舎は北と南に分かれており、駅と線路によって交通が分断されてしまうことで渋滞が頻繁に発生していました。その問題を解決するため八尾市とJRが協力し合い、総工費約55億円をかけて駅改良工事を実施。付近の踏切の整備も進められました。そして平成25年(2013年)7月、待望の新駅舎が完成!ユニバーサルデザインを取り入れ、南北の出入口にエレベーターとエスカレーターが設置されました。南北をつなぐ自由通路も誕生し、バリアフリー化や多機能トイレ2室を備えています。



開業間もない、明治時代の八尾駅。



渋川踏切から駅舎を望む(昭和)。



踏切ウォーク

踏切の安全を守る取り組みのひとつとして行っているのが「踏切ウォーク」。万が一踏切でトラブルがあった際に、現場に迅速に駆けつけて対応できるよう、八尾駅管区内の踏切まで歩いて経路を確認するというもの。実際に駆け付ける際は自転車などを利用しますが、八尾市内は細い路地なども多いため、徒歩でルートを確認しながら向かいます。現地ではまわりの環境や通行量など、写真だけではわからない状況を目で確認。八尾駅管区ならではの大切な取り組みで、宮本駅長も赴任して初めて経験したと言います。「来て最初に、足腰は強いのか、足は速いかを聞かれてびっくりしました」とは、新入社員で八尾駅に配属になった三宅美花子さんの言葉。ちなみに三宅さん、4年目の現在はバッチリ全ての踏切を踏破したそうです。

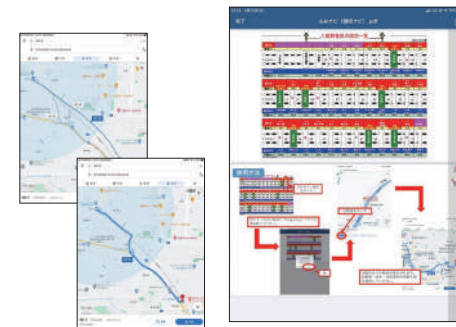


年4回実施する「踏切ウォーク」。八尾駅管区内の踏切を4ブロックに分け、駅から各踏切を徒歩で回ります。実際に歩いて、現場を目で見ることでわかることがたくさん。



踏切ナビ

踏切を安全に管理するためのもうひとつの取り組みが、八尾駅管区独自の「踏切ナビ」です。開発を担当したのは、武本晃典さんを始めとする安全チームの皆さん。踏切まで社員の誰もがスムーズに到着できるよう、地図情報と連動した経路案内システムを構築しました。踏切名をタップすると、出発地点からの経路が即時に表示される仕組み。社内用タブレット端末からも操作することができ、万が一の際に行ったことのない踏切であっても、端末のナビに従って迷うことなくたどり着くことができます。「いつ何が起きるかわからないからこそ、誰でもすぐに現地向かえるシステムを考えました」と武本さん。昨年から開発に着手し、約半年の月日をかけて完成しました。この取り組みは社内でも高く評価され、「改善3級」を受賞。宮本駅長は「安全を実現するために、全員が能動的に考えて行動するのが八尾駅管区。いいチームワークで仕事ができていると感じます」と共に働くメンバーに信頼を寄せています。



武本さんが中心になって開発した「踏切ナビ」の社内での愛称は「ふみナビ」。踏切名をタップすると地図情報に切り替わり、ルートが表示されます。



【八尾駅管区の歩み】

1889年(明治22年) 5月	大阪鉄道の湊町駅(現在のJR難波駅)～柏原駅間の開通時に開業
1900年(明治33年) 6月	関西鉄道が大阪鉄道の路線を継承関西鉄道の駅となる
1907年(明治40年) 10月	関西鉄道が国有化国有鉄道の駅となる
1929年(昭和4年) 3月	八尾駅南口開設
1965年(昭和40年) 10月	貨物廃止(専用貨物除く)
1980年(昭和55年) 10月	貨物営業を廃止(旅客駅となる)
1987年(昭和62年) 4月	国鉄分割民営化により、西日本旅客鉄道の駅となる
1988年(昭和63年) 3月	加茂駅～湊町駅間に大和路線の愛称使用開始
2008年(平成20年) 3月	おおさか東線(放出駅～久宝寺駅)開業に伴い、片町線貨物支線(放出駅～八尾駅間)廃止
2009年(平成21年) 3月	関西本線貨物支線(八尾駅～杉本町駅間)廃止
2011年(平成23年) 12月	駅舎が仮駅舎に移転、仮設の跨線橋が使用開始
2013年(平成25年) 7月	自由通路橋上駅舎、始発より使用開始
2013年(平成25年) 8月	初めて女性社員配属
2014年(平成26年) 5月	JR難波駅～柏原駅間(天王寺駅・平野駅・八尾駅)開業125周年

八尾駅管区は、歴史の古い駅がいっぱい!

JR 加美 かみ Kami 1909年(明治42年)4月1日開業	JR 久宝寺 きゅうほうじ Kyuhoji 1910年(明治43年)12月1日開業	JR 八尾 やお Yao 1889年(明治22年)5月14日開業
JR 志紀 しき Shiki 1909年(明治42年)4月1日開業	JR 柏原 かしわ Kashiwara 1889年(明治22年)5月14日開業	JR 高井田 たかいだ Takaida 1985年(昭和60年)8月29日開業
JR 河内堅上 かわちかたかみ Kawanishi-Katakami 1927年(昭和2年)4月19日開業	JR 新加美 しんかみ Shin-Kami 2008年(平成20年)3月15日開業	



当時は天王寺駅までの運賃が40円。



昭和49年の八尾駅舎(南口)。



平成19年の八尾駅舎(南口)。



現在の八尾駅(南口)。

管区誌のクオリティが高い!!

JR西日本では、管区ごとに自分たちの取り組みや社員を紹介する情報誌を作成しています。中でも八尾駅管区が発行している『やおふあ〜む』は、クオリティが高いと評判です。以前は新大阪駅にいたという宮本駅長も「当時から、八尾駅管区の情報誌は面白いなあと思っていました」と言うほど。そこで、『やおふあ〜む』の編集リーダーを務める三宅美花子さんに、誌面に込めた思いについてお聞きしました！



三宅 美花子さん
八尾駅に配属され、現在4年目。入社当時から『やおふあ〜む』の編集を担当。



同僚や先輩に「虎を描いて!」と頼んで描いてもらった絵心選手権

はじめまして、八尾駅管区誌の編集リーダーの三宅です。八尾駅管区独自の取り組みや日常を社内のネットに掲載する事で、JR西日本社員すべての方に見ていただくことができます。そんな八尾駅管区誌『やおふあ〜む』を作成するこだわりはいくつかあります。

まず何より『やおふあ〜む』の伸ばし棒は「一」ではなく「〜」です。『やおふあ〜む』です(笑)。これは波線にする事で少しでも親しみを持っていただくためです。あと絶対外せないのが「インパクト」!読んでもらうには、まず表紙に興味を持ってもらい、見た目でも勝負しています!インパクトのためなら上司に怒られることも覚悟の上で、真似やコラージュしまくっています。

毎月発行しているのも、こだわりのひとつです。10年以上続く八尾駅管区発行の管区誌の歴史を絶やすことなく、更新し続ける事に責務を感じています。

また、定例記事の作成担当が決まっており、担当者は記事を書き溜めている事と、八尾駅管区誌チーム以外の方にも定例記事の作成依頼をしているので、ある程度の記事の本数は確保できています。記事の締切が毎月25日とチーム内で浸透しているのも、毎月発行出来ている理由のひとつです。

思い出深い記事を強いて選ぶなら、最近の1番は「絵心選手権」です。思い付きで同僚や先輩に「絵心があるか見るから、虎を描いてくれ」と頼んで、休憩中や仕事終わりに皆で笑いながら描いていました。

2番は、八尾駅管区のイメージキャラクター「大和あすか」のJR西日本グループキャラクター総選挙の記事です。開催された際は駅を挙げて投票しましたし、結果が出た時には皆で騒ぎまくった事が昨日のように思い出されます。

3番は「釣りヤオ日誌」です。記事のタイトルをご覧になって分かるように『釣りバカ日誌』を意識しています。八尾駅管区に釣りが趣味の社員が何名かいて、その方に記事の編集をお願いしています。タイトルロゴを作成する際に「釣りといえば!」と閃いて渾身のロゴができ、心の中でガッツポーズをしたのが思い出です。

逆に困った事といえば、記事



大和路線八尾駅管区PRキャラクター・大和あすか

三宅さんのおススメ!

JR西日本の便利なアプリができました!マイ駅登録お願いします!



のネタ探しに困っています。『Yaomani』さんも同じだとは思いますが、毎月となると同じような内容ばかりになってしまいます。新型コロナウイルスが流行する前は、鉄道会社ならではの社員があちこち旅行に行った記事や、難しい切符や珍しい切符を発売した際のネタを使用していました。現在はネタが尽きてしまいました…。そこで、ネタを社員からいただいています!

また、PCスキルが社員によってバラバラなので、記事のクオリティに差が出てしまうこともあります。そこを調整する作業や、撮影した画像を加工する作業なども時間がかかります。

ですが、通常業務と並行して、『やおふあ〜む』を任せていただく責任と信頼に沿うように作業することは非常にやりがいを感じています。プライベートが削られる事もありますが、何事も楽しんでこれからも社内の方に読んで頂けるようなインパクトのある八尾駅管区誌を作成してまいります!



釣り好きの社員が自らの趣味を紹介する記事コーナーも人気。

時刻検索はWESTER

JR西日本公式アプリ
WESTERでできること
よく使う駅を登録すると直近列車の時刻が直ぐに見えます!

経路検索
マイ区間登録
マイ駅登録

遅延証明書等の機能をメニューボタンからご利用可能!

ダウンロードはこちらから!

宮本駅長インタビュー

「八尾駅管区の社員はチームワークが最高。そこが、安全・安定・おもてなしにもつながっていると思います。」

—コロナ禍により鉄道にも大きな影響があったかと思いますが、八尾駅管区ではどのような対応をされていましたか？

私が八尾駅に赴任した1年前は、緊急事態宣言当時よりはコロナが収まりかけている状況でしたが、社員にはひとつの事をお願いしました。それは、私たちの会社はインフラ企業なので、絶対にクラスターを発生させてはいけないということです。そのため、職場では休憩時間も含めて、密になる行動は避けました。飲食は広い会議室を使用し、マスクの着用、アルコールでの手指消毒、微熱でも体調不良を感じたら出勤しない等の対策を徹底しました。

—コロナの規制も緩和されつつありますが、これから期待されていることを教えてください。

日常のご利用は回復していますが、行楽やイベント等に対する動きはまだそれほどではないと感じています。2023年春のダイヤ改正ではうめきたエリアに新駅ができ、おおさか東線が大阪駅まで延伸となります。そうなるイベント等も増えますので、それに伴ってお客様のご利用も増えるのを期待しています。当社グループがやりたい姿に掲げている「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」の実現に向け、新型コロナウイルスが徐々に収束に向かう中、私達も新たなステージへの歩みを進めていきたいと考えています。

—海外からの観光客の受け入れについては、いかがでしょうか？

大阪駅や新大阪駅に勤務しているときは海外からのお客様が非常に多く、文化の違いもあっていろいろ大変な面もありましたが、今から思えば、あの賑わいもありがたかったなと思います。これからまた、多くのお客様が自由に行き交えるようになるといいですね。八尾市は歴史のある街なので、海外の方にも喜んでいただける場所がたくさんあると思います。



取材中も和気あいあいとした雰囲気。右は高木政直副駅長。



宮本 忠明 駅長

これまでは、新大阪駅や大阪駅など巨大ターミナル駅に勤務。京橋駅の副駅長を経て、2021年6月より駅長として八尾駅に赴任。趣味はランニング。

—2025年の大阪・関西万博に向けて、どのようなことを期待されますか？

1970年に開催された大阪万博は私が8歳の時でした。当時は迷子ワッペンを胸に貼り付け、色々なパビリオンを回って楽しみました。2025年の大阪・万博は、コロナも完全に終息し、暗い過去から脱却する位置づけとして、外国から来られる方も含めすべての方が楽しく、思い出に残る万博になればと思っています。この会社で大阪・関西万博を迎えたいのですが、今年で還暦ですので、2025年には定年退職をし、引退していると思います。

—赴任されて1年ですが、「八尾駅管区のここが自慢!」というところを教えてください。

チームワークが最高です。社員一人ひとりの安全に対する意識が高く、一生懸命CS(顧客満足)にも取り組んでいます。CSは、ES(従業員満足)がなければ実現できません。その点で八尾駅管区は非常に雰囲気も良く、お互いが協力し合える環境なので、お客様へのサービス向上にもつながっていると思います。

—八尾駅や周辺の印象についてはいかがですか？

実は赴任するまで八尾駅を利用したことがなかったのですが、近隣には歴史的なスポットもありますし、非常に魅力的な場所だと思います。駅を利用されるお客様もフレンドリーに接してくださって、赴任して今日まで、楽しく仕事をさせて頂いています。

—八尾市内で、お気に入りのスポットはありますか？

休日に約10kmのランニングをしているのですが、八尾市は非常に走りやすい街だと思っています。特に、春先の玉串川の桜を見ながらのランニングは最高です。自宅は東大阪なのですが、調子がいい時は、大好きなアリオ八尾まで足を延ばします。

新生！ ハ尾市文化会館 リニューアル！



後列左から、中神さん、専務理事・事務局長の尾谷祐司さん、館長の久保亮代さん、村田さん、重松さん、前列左から日笠さん、北芝さん

8月いよいよグランドオープン！担当者さんに、 「新生プリズム」の見どころを聞きました！

昭和63年の開館以来、初めての大規模改修を行っている八尾市文化会館プリズムホール。令和3年4月からの長期休館を経て、いよいよ8月にグランドオープンを迎えます。大改修を終えたプリズムホールはどう生まれ変わったのか、今からワクワクがとまりません！そこでひと足お先に、グランドオープンの見どころを探るべく、八尾市文化振興事業団の皆さんにお話を伺ってきました！



施設について、村田慎治さんにお聞きました！

開館から30年以上経って老朽化している部分や、現在の法規に合わない部分を解消することが今回の改修の目的でした。メインは大ホールの天井やエントランスの吹き抜けの地震対策ですが、そこだけでなく、安全性や利便性に関わる部分も見直しています。

例えば、改修のご要望が多かったトイレは和式から全て洋式に変えて、内装も一新してパツチりきれいになりました。多目的トイレも増設していただいています。

それと、バリアフリー化ですね。地下2階の駐車場から、エレベーターで1階まで上がれるようになりました。動線を見直し、地階へ行くエレベーターを一般のお客様にも使っていただけるようにしたんです。大ホールの楽屋入口にも段差解消機を設置して、車椅子の方もスムーズに上がれるようになりました。ホール内の車椅子席も増設しています。

会議室や練習室、和室などの内装や備品もほぼ一新。機材を入れ替えたり、床を張り替えたり、きれいになっています。レセプションホールは二重扉になって音漏れ防止も強化されています。あと、楽しみにしていただきたいのは大ホール1階と小ホールの座席。横幅が広くなって、沈み込まない座面になっているので、座りやすさを実感してもらえると思います。クラウドファンディングのお礼の品でお名前を刻んだプレートをつけていますので、「開館したらまずプレートをチェックします！」と楽しみにされている方もいらっしゃると思います。

今回の改修では「賑わいの創出」を目指して、1階と2階も大きく変わります。1階のカ



フェが新しくなって、プリズムをイメージしたランチやパンケーキなどのカフェメニュー、お酒も楽しめるお店になります。カフェと合わせて、イベントやパーティなどにも使ってもらえる空間をフリースペースとして作りました。1階はたくさんの人に気軽に来ていただいて、いつも賑わってほしいなと思っています。

2階はこれまで図書やチラシがあったコーナーを拡充させ、交流の場が設けられます。名称も「情報・交流コーナー・やおうえるかむガーデン」となり、市民活動の打ち合わせなどにも使っていただけるようになっていきます。内装は八尾市内の友安製作所さんが手がけていて、まだ完成していないんですけど、すごくいい感じなんです。ベビールームもあるので、親子で安心してご利用いただけると思います。

ほかにも赤で統一した館内表示や、サイネージの設置、外壁の改修とか屋上の防水などなど、改修箇所がたくさんありすぎてとてもご紹介しきれません(笑)。

村田さんの「ここ見て！」ポイント

1階のカフェは西海岸風のおしゃれな空間で、公演を観たあとに、ビールを飲みながら感想を語り合うのもおすすめです。2階のベビールームの壁一面に描かれる徳治昭さんの作品も、ぜひチェックしてください。このリニューアルをきっかけに、これまでプリズムホールに来たことがない方も、気軽に立ち寄ってもらえたら嬉しいです！



2階 情報・交流コーナーの改修状況
家具や装飾などが入りどんな風になるのか、今から楽しみです！

プログラム担当 北芝敦子さん・中神まゆみさんにお聞きました！



北芝さん：グランドオープンに先駆けて、7月30日・31日は“つながり、かがやけ！今日はハレの日”と題して、全館でさまざまなイベントを行います。30日の朝は、式典のテーブルカットからスタート。午後は「八尾市芸術文化基本条例の制定記念シンポジウム」が開催され、八尾ゆかりのアーティストによる演奏やパネルディスカッションなどが行われます。夜は「FMちやおpresent's DJナイト」で、盛り上がりたと思っています。31日も、八尾市形劇連絡会や、八尾市文化連盟加盟の団体の公演、落語会も行われます。

オープニングには市民や八尾ゆかりの方々にもたくさん関わっていただきたくて、出展者・出演者を広く募集しました。全館の至るところで一日中、アートやパフォーマンス、ワークショップに触れられる、そんな2日間にする予定です。新生プリズムの幕開けを、皆さんと一緒に盛大に、賑やかに祝いたいと思っています。

中神さん：そして、30日のメインイベントが「河内ゴスペル パワフルステージ in プリズム」。八尾の新しい魅力を発信するために、ゴスペルで河内音頭の「いやこらせ、どっこいせ」を歌うのは面白いんじゃないかというアイデアが生まれたんです。ちょうどその頃、新聞で八尾のグレース宣教会に世界的なジャズピアニストのドリーン・アイヴィさんがいらっしやることを知ったのもあり、八尾本場河内音頭連盟さんとのコラボを企画しました。

このステージのために、オリジナル曲「組曲 河内ゴスペル 誰もが輝く～今日はハレの日～」を音楽家の玉麻尚一さんに作っていただいたんですが、これがすごくいい曲なんです！歌詞にはく八尾市や市民の繁

栄を願うこと>、<リニューアルオープンを祝うこと>、<プリズムの思い出>の3つの大意が込められているのですが、プリズムの思い出は公募を行いました。成人式やコンクール、子どものはじめての発表会など、皆さんからいただいたたくさんのお思い出が歌詞のなかに散りばめられているので、ぜひ聴いてみてください。当日は公募した約50名のゴスペルクワイアの皆さんと一緒にステージに上がっていただきますので、会場一体となって盛り上がりたと思っています。

タイトルにある“ハレの日”は、音楽や演劇にふれてハッピーになったり、舞台の上で演じて気分が高揚したり、プリズムホールで非日常を体感する特別な瞬間を、“ハレの日”という言葉に込めました。

ゴスペルと河内音頭はどちらも土地に根付いたソウルミュージックなので、相性の良さを感じます。ファンキーでノリやすいところも似ているので、「組曲 河内ゴスペル」はきっと、八尾の皆さんの心にしみ入るんじゃないかなと思います。後々まで歌い継がれる曲になってほしいですし、これからたくさん歌って踊っていただけたら嬉しいです。



中神さんの「ここ見て！」ポイント

1部と2部ではゴスペルやジャズをたっぷり楽しんでいただき、3部ではみんなで歌って盛り上げられたら最高です！河内音頭とゴスペルの情熱が交差する「河内ゴスペル パワフルステージ in プリズム」に、ご期待ください！



河内ゴスペル パワフルステージ in プリズム
日時：2022年7月30日(土) 午前11時から
対象：小学生以上／入場料：1,000円(当日券は1,300円)

舞台担当 日笠良紀さん・重松貴志さんにお聞きました！

日笠さん：今回の改修は大きくは耐震工事ですが、舞台、音響、照明の設備や機材も長く使って不調や故障もあったので、これを機に新しくすることになりました。お客さまには見えない部分ですが、最新の機材を入れているので、より安全に、よりいい音・いい照明をご提供できるかなと。舞台の主催者様や、外部のスタッフさんにも喜んでいただけたと思います。スピーカーも新しくなって、僕らも試しに聞いたんですけど、「今っぽい」音になっていましたね。

重松さん：ステージの床は釘の穴が開いていたり、かなり年季が入って味が出ていましたが、全部張り替えて新しくなりました。舞台上の音を客席に届ける反響板もきれいになったので、客席からもわかりいただけるかなと思います。客席の椅子も新しくなって、現代的なホールになりました。

ホールの音の質は、そこに来る人によって変化していきます。最初は真新しいホールの音が、何十年も使っていくうちに、だんだんそのホールらしい音になるらしいんです。プリズムの大ホール・小ホールも、これからたくさんの方の皆さんに使っていただくうちに、八尾らしい音になっていくのかなと思います。何十年もプリズムを愛していただいて、だんだん八尾の音になっていく、その変化や経過も楽しんでもらえたら嬉しいです。

日笠さん：機材も電気を通してでなじんていきますし、ステージの床も踏まれたり湿気を吸って変わっていきますから、10年20年経って“プリズムの音”になっていくんだと思います。椅子の座面や背もたれの大きさなどで響き方が変わりますから、多分新しいホールの音を聞いていただいたら、「あ、違う！」って気付いていただけたらと思います。ぜひ、これまでのホールとどう違うのか、意識して聞いていただきたいと思います。

重松さん：あとはWi-Fiですね。一般のお客様向けと、舞台を利用される方向けのWi-Fiを入れることになりました。コロナ禍でライブ配信のニーズが高まったこともあり、プロジェクターやパソコンの貸し出しも予定しています。オンラインで会議をしたいという要望をいただいたり、もともと需要はあったのですが、コロナ禍を機に、やっぱり必要だと言うことで。ライブ配信のノウハウも休館中に蓄えたので、ひと通り対応できる体制を整えました。

工事の一年以上前から準備を進めてきた日笠さん。分厚い書類ファイルも「これはごく一部です(笑)」とのこと。



重松さんの「ここ見て！」ポイント

お子さんを対象にしたバックステージツアーを、今年は久しぶりに「リアル」で開催します。客席からは見えない舞台裏のリニューアルもまるごと体感していただける機会です。導入したばかりの新しい機材(機関車みたいな照明とか！)も触ってもらえるので、今年のツアーは例年以上におすすめです！

YouTubeでは、最新ニュースやさまざまな特集企画を配信！
プリズムサマーワークショップ バックステージ・ツアー
日時：2022年8月13日(土) ①10:00～ ②14:00～
対象：小学生 ※1～3年生は保護者同伴のこと
定員：各回15名



八尾市文化会館プリズムホール
大阪府八尾市光町2-40／電話 072-924-5111
営業時間 10:00～18:00／月曜日休業(祝日の場合は翌日)



八尾を世界の玄関口に！ 2025年大阪・関西万博に向けた

「八尾空港有効利用研究会」開催

令和4年5月16日(月)、リノアス八尾8階パンケットルームに於いて、「八尾空港有効利用研究会」が開催されました。2025年の大阪・関西万博にむけて、八尾の活性化のためにいかに八尾空港を活用していくか、その議論を深めるキックオフとなりました。

議長を務めた
一般社団法人
八尾市観光協会
山口孝満理事長



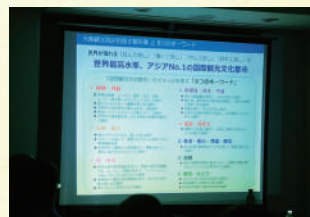
八尾の未来を思い、さまざまな分野で活動されている方々が一堂に会した研究会。終了後に、書面およびメールでもご意見・ご感想をいただきました。

議長を務める一般社団法人八尾市観光協会の山口孝満理事長の発起により開催された研究会。冒頭では、「この研究会が、八尾市の新しい明るい未来の原点になることを望みます」と挨拶されました。インバウンド獲得に向けた取り組みをスタートさせた矢先にコロナ禍に見舞われましたが、大阪・関西万博の開催およびIR誘致が期待される今こそ、八尾空港の利活用について検討すべきであると本研究会に掛ける思いを述べられるとともに、八尾空港の有効活用は観光だけでなく農産物の輸送や文化の交流など夢が大きくふくらむこと、そのためにこれから八尾商工会議所と共に本腰を入れて取り組むという熱意を語られました。

続いて、元観光庁長官で公益財団法人大阪観光局の溝畑宏理事長が講師として登壇。『大阪経済発展へのシナリオ』と題し、講演が行われました。溝畑理事長は2030年までを、大阪が「世界最高水準、アジアNo.1の国際観光文化都市」になる千載一遇のチャンスであり、この機会を逃さないためには大阪府内の各都市がその魅力を発揮することが重要であると訴えます。特に八尾市は交通の要衝であり、また空港ということから、万博においてはスーパーラグジュアリー(富裕層)の受け入れ先として重要な位



「空港がある」という強みを生かしたい」と語る山口理事長。



公益財団法人大阪観光局 溝畑宏理事長による講演のテーマは、『大阪経済発展へのシナリオ』。



置づけにあるという考えを示しました。八尾には名産品や歴史、文化など非常に良い素材があると評価し、そのうえで、「八尾のポテンシャルをいかに世界デビューさせるか、世界の中で八尾をどう輝かせたいのか、その目線で考えていただきたい」と講演を締めくくりました。

会は進み、続いては参加者の自己紹介に移ります。山口理事長が「八尾を愛し、八尾の発展をいつも考えてくださっている方々」と評する今回の出席者の皆さまが、ご自身の活動と、八尾の活性化、八尾空港の利活用についての想いなどを述べられました。観光はもとより、産業、経済、芸術文化など、さまざまな分野からお集りいただいた皆さまから、今後の八尾の活性化につながるさまざまなご意見・ご提案がありました。

多くの意見や提言を受け、山口理事長は「みんなで熱意をもって創意工夫して、八尾空港を盛り上げていきたい」と思っており、3時間におよぶ研究会の第一回は幕を下ろしました。いよいよ現実味を帯びてきた八尾空港の有効活用への道。八尾市のさらなる発展の第一歩が踏み出されました。

コロナ禍でも、河内音頭の火は消さない！ 今できる最善を尽くして、2年ぶりの開催が決定

「第45回 八尾河内音頭まつり」

2022年9月19日(月・祝)
※詳細は決定次第、八尾河内音頭まつり振興会
ホームページや市政だよりなどお知らせ



今年はコロナ禍という状況を踏まえ、近鉄八尾駅周辺で規模を縮小して開催予定。写真は、アリオ八尾で開催された第38回のイベント。

八尾の夏を彩る風物詩といえば、「八尾河内音頭まつり」。河内音頭発祥の地とされる八尾を代表する一大イベントで、市内はもとより、市外からも多くの来場者が訪れます。しかし、令和元年(2019年)の第42回を最後に、第43回と第44回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、開催が見送られることに。河内音頭が聞こえない八尾の夏はなんと寂しく、多くの方が再開を待ち望んでいました。

そして中断から2年、ついに「第45回 八尾河内音頭まつり」が2022年9月19日に開催されることが決定しました！コロナ禍という状況を踏まえつつ、今できる最善の形での開催に向けて、主催の八尾河内音頭まつり振興会が準備・調整を進めています。

今回で45回目を迎える「八尾河内音頭まつり」は、過去には天童よしみさんのコンサートや、市役所前の公道でのパレードなど、市民まつりとして歴史を重ねてきました。第35回からは場所を市役所前から久宝寺緑地に移し、河内音頭大盆踊り大会や市内飲食店が出店するマルシェデオンド、中高生による吹奏楽やダンスコンテストなど幅広いジャンルのプログラムが開催され、イベントを盛り上げてきました。

中でも第40回の記念大会では、世界記録を更新するという偉業を達成。久宝寺緑地に約2900人が集まり、全員が浴衣を着用して「八尾正調河内音頭踊り」に合わせて5分間振り付けを間違えずに踊りきるという挑戦を行い、見事に新記録を樹立しました。その時の記録である2,872人は未だ破られておらず、八尾の河内音頭がナンバーワンです。

今年の「八尾河内音頭まつり」は、従来の久宝寺緑地ではなく、近鉄八尾駅周辺での開催が予定されています。盆踊り大会をメインにイベント内容を検討中とのこと。例年より規模を縮小して開催される見込みですが、それでも待ちに待った河内音頭一色のイベントに、今から期待がふくらみます。いつかまた従来のように盛大な「八尾河内音頭まつり」が開催される日がくることを願いつつ、この夏は2年分しっかり踊って、思いっきり楽しめましょう！



まつりまでに河内音頭の情報をしっかりチェック！

河内音頭を詳しく知るなら！

「八尾河内音頭まつり」公式ホームページには、河内音頭の歴史や、八尾と河内音頭の関わり、「八尾正調河内音頭踊り」の踊り方動画など、情報もりだくさん！詳細も決定次第公開されますので、こまめにチェックして、開催を楽しみにお待ちください！



河内音頭の踊り方を学ぶなら！

河内音頭の踊り方は、「八尾市文化会館プリズムホール」のYouTubeでも見られます。＜手踊り＞＜マメカチ＞と、マメカチがよりアクティブな形になった＜缶蹴り＞まで、丁寧にレクチャー。八尾河内音頭まつりまでに覚えて、踊りの輪に入りましょう！



河内音頭に触れるなら！

伝統河内音頭継承者である八尾市出身の河内家菊水丸さんを館長に迎え、2012年にオープン。懐かしいレコード盤や書物など河内音頭に関する貴重な資料をはじめ、館長愛用の和太鼓・ギター・アンプ・衣装などが展示されています。



河内音頭記念館

八尾市本町7-12-24
(ファミリーロード商店街内)
開館時間 10:00~18:00
休館日 毎週火曜 ※年末年始及び
展示品入れ替え日は休館

株式会社 SHARP
COCORO LIFE人とヒトも、人とモノも、
“つながる”ことで
もっと豊かになっていく。

日本が世界に誇る家電メーカー・シャープ株式会社のグループ企業として、2019年に八尾市で設立された株式会社SHARP COCORO LIFE(シャープ ココロ ライフ)。今回は3月に完成したショールームに伺って、事業への想いや最新家電の魅力などをお聞きました。

モノづくりをしない、 シャープの子会社

今回お邪魔したのは、シャープ八尾事業所内にあるAloTショールーム。AloTとは、AI(人工知能)とIoT(モノのインターネット)を組み合わせたシャープ独自の造語で、家電などの製品がインターネットにつながるだけでなく、人工知能によって学習し、成長するシステムを目指しています。ショールームには、八尾市のふるさと納税で人気の「ヘルシオ ホットクック」をはじめ、AloTの技術を搭載した家電がずらり。AloT家電がある暮らしがイメージできる空間になっています。

IoTで家電とインターネットがつながる時代になったことで、SHARP COCORO LIFE の事業は誕生したと取締役副社長の佐伯和裕さんは設立の背景を語ります。「これまで製造業は、製品を販売店さまにお届けした後は、お客さまとの接点と言えば故障の対応くらいでした。しかし、家電製品がインターネットにつながるようになり、ご購入いただいた後もお客さまとの関係が続くようになってきました。お客さまと製造業が直接つながる時代になり、その関係性をマネジメントしていく会社が必要だという方針で設立されたのがSHARP COCORO LIFEです」。

売って終わりではなく、売った時から始まる顧客との関係性。そこから継続的なコミュニケーションを醸成するというこれまでにない事業について、新たな価値やサービスを提供することに挑戦する会社だと佐伯さんは言います。「買ったときが一番いいのではなく、AIによって買ったあとにどんどん進化することができる。5年10年使っていただく製品ですので、お客さまの生活をより便利にしていくことを目的としています」。顧客に提供する価値向上のためには自社製品だけでなく、他社製品ともワンストップでつながることが大切。そのために他社とのアライアンスも検討しており、将来的には他社製品も含めてオープンにつな

ぐプラットフォーム化も構想しているということです。

また、インターネットにつながることで、ユーザーのリアルな使い方も見えてきたとソリューション開発部部長の安田一則さんは言います。「こちらの想定と全く違う使い方をされていて、驚くことがあります。例えば「ホットクック」の予約機能は、出勤前にセットすれば帰宅後すぐ食事ができるように考えたものでしたが、実際は翌朝の朝食用に、寝前にセットされる方が多いことがわかりました」。ほかにも、エアコンが冷房に切り替わるタイミングなど、さまざまな情報を集積できるのがIoTの強み。こうして得た情報を製品開発に活用し、ユーザーに価値として還元していくことも重要な使命のひとつです。

マスク販売でECサイトへのアクセスが殺到

SHARP COCORO LIFE の事業の中でも重要な位置づけにあるのが、ECサイト「COCORO STORE(ココロ ストア)」。

「COCORO STORE」が大きな注目を集めたのは、2020年4月の「シャープのマスク」がきっかけでした。店頭にほとんどマスクが出回らなかった当時、三重県にある液晶工場のクリーンルームを活用しマスクを製造することを発表したシャープ。そのニュースは、社会現象と呼ばれるほどの話題となりました。その時のことを、佐伯さんは「僕らも正直びっくりしました」と振り返ります。「トップの判断がとにかく早いです」。

マスクが必要だから作る、そのためにどうするかを考える。やるかやらないかを慎重に検討するより、やると決めてそのために何をすればいいかを考えるのは、昔からシャープの気風かなと思います

ソリューション開発部部長 安田一則さん。「取得したデータから見てきたことをフィードバックして、お客さまの満足度を上げていきたいと思います」



八尾市のふるさと納税でも人気の「ホットクック」。メニューがダウンロードできるほか、検索の傾向から推測したメニューを提案してくれることも。有料で人気声優の声をダウンロードすることもできる。▶

◀その日の天気や洗剤の残量なども教えてくれる洗濯機は「IoT家電のなかでもよく喋るほうです」と安田さん。



◀シャープの白物家電は1956年の扇風機や掃除機の生産から始まり、1959年(昭和34年)に八尾工場を竣工。現在も白物家電を中心とした事業所となっている。



◀「ふるさと納税」に参加して、シャープ製品がメイドイン八尾なんだと実感しました」と佐伯さん。返礼品に登録されるや否や、品切れが続出するほどの人気に。



▲3月に誕生した、AloT家電を集めたショールーム。国内外で販売中の製品を展示しており、主にBtoB向けの商談などで活用する。

す」。材料や設備の調達も困難な中、それでもわずか数か月で完成に至ったシャープのマスク。数に限りがあるため、ECサイトで抽選という形で販売されました。その結果、ECサイトに登録する会員数が大幅に増加。ユーザーからの意見や要望も数多く寄せられたと言います。

また同時期、ECサイトでは、生産者を応援するために食材も販売されました。「ヘルシオ」用のミールキットを販売しているつながりで生産者さんともお付き合いがあったのですが、コロナで外食が減って販路がないというお話を聞いて、ECサイトの会員さま向けにお得な価格で販売しました」。

ほかにも、コロナ禍で映画やライブに行けないことから、オンライン配信や動画をテレビで見たいというリクエストも多く寄せられ、テレビで楽しめるコンテンツを紹介したところ、喜ばれたという例も。テレビもこれまでとは違い、「画面の大きなスマホ」のような感覚で使われるようになるのでは」と予測します。

コロナを起点に、さまざまなことが大きく変わったと佐伯さん。これまで自社の家電や消耗品を販売していたECサイトの様相も一変、社会貢献のためにマスクを販売する、困っている生産者を応援するという思わぬ方向に進みます。当初は驚き、戸惑いも感じたとはいいますが、大勢のユーザーの声を直接聞いたことで気付きもありました。「この洗濯機はここがいいですよ!とCMで大勢に呼びかけるのとは全く違って、お客さま1人ひとりの声がある。それに答えるために、製造部門とも連携しながら、お客さまの声を具現化することを目指しています」。

ニーズがあれば失敗を恐れず、 「シャープならやる」

2022年現在も、マスクの製造・販売は継続中。サイズバリエーションの充実やポストインでのお届けなど、ひとつの事業として、より良いものを作るためのプロジェクトは進行しています。「マスクを通じて多くのお客さまとつながり、たくさんのフィードバックをいただきました。それを生かして今もシャープらしいマスクを追求していますし、先日は「CrystalIQ(クリスタリーク)」というマスクによる肌悩みに応える化粧品も出しました」。

マスクだけでも意外だったところに、新たに化粧品がデビューと聞いて驚いていると、「お客さまの声をヒントにしているので、半年後は何をしているかは、実は私たちも分からないんですよ」と佐伯さん。同じく安田さんも「必要だと判断したものに対して、素早く行動を起こせるのはシャープの社風です」とうなずきます。実はマスクや化粧品だけでなく、最近はミールキットの延長で台湾産のマングーも販売。まさに予想外の品揃えですが、そこにトライすることこそシャープだと安田さんは言いま

す。「ニーズがあるならやってみようと思うるのは、シャープらしいところだと思います。100本打って100本ヒットになるわけではありませんが、失敗も糧にして進んでいく。その挑戦が意外なものであっても、シャープだったらやるかもね、とお客さまにも思っていたいただけるのかなと」。

最後に、新たなことにトライを続けるSHARP COCORO LIFEが、今後力を入れていきたいことについて伺いました。安田さんは「ニューノーマルや少子高齢化など状況は刻一刻と変化しますが、その時々に必要なものを柔軟に、スピーディーに対応していきたいと思います」。佐伯さんは、「やっぱり健康だと思います。コロナによって、これまで当たり前だった安心安全や普通の暮らしが、いかに大切だったかがわかりました。そこに対して、AloTの技術でできることはまだまだたくさんあります。SHARP COCORO LIFEという会社は、お客さまと直接対峙しながらモノやサービスを届け、フィードバックを受けたことを、人の健康や少子高齢化に向けたサービスという形に変えていけたらと考えています」。

昭和34年に操業をはじめた八尾工場内で、先進の技術と顧客サービスを融合させた新たな事業がスタートしています。これからもシャープらしい挑戦に期待が高まります。



株式会社SHARP COCORO LIFE

〒581-8585 八尾市北亀井町3-1-72

https://cocorolife.jp.sharp/

公式HPは
こちら

Present /

7名
さま

今号の
八尾プレ

シャープクリスタルマスク(5枚入)

三重県内のクリーンルームで生産された「シャープクリスタルマスク(5枚入)」を、ご提供いただきました!顔にしっかりフィットして防御性は保ちつつ、デザイン性と快適性に優れた国産マスクです!

ソリューション
開発部部長
安田一則さん

詳細は裏表紙をご覧ください▶



市民の暮らしの充実と、市の魅力発信につながっています

2008年にスタートした「ふるさと納税」は、自分が選んだ自治体に寄付できる制度。寄付をすると税金の控除などが受けられるうえ、寄付先から返礼品が受け取れるとあって人気を集めています。コロナ禍の巣ごもり需要もあり、ここ数年でさらにブームは加速。そこで、八尾市の「ふるさと納税」事情について、財政課債権管理室の中野室長にお話を伺いました。

—八尾市では、制度開始の2008年から「ふるさと納税」を導入しておられるんですね。

今年で15年目になりますね。市として必要な事業を行う財源を確保するために寄付を集めることと、返礼品を通じて八尾市の魅力を発信することを目的にしています。

—より多くの寄付を集めるために取り組まれたこと、工夫されたことはありますか？

多くの方に選んでいただける返礼品を用意することが、寄付を集めることにつながります。ですから、八尾市としても魅力ある返礼品を取り揃えることが重要なことです。市内の多くの企業とつながりを持つ観光協会と協力しながら、八尾市の魅力をアピールできる返礼品の確保に努めています。また、多くの方の目にとまるように、「ふるさと納税」を扱う寄付サイトへの登録も増やしました。

—八尾市の返礼品の魅力は、どのようなところでしょうか。

食料品から日用品、子供用品、電化製品まで、現在は500種類以上を取り揃えています。いろいろな層の方に選んでいただける、幅広いラインナップが魅力ではないでしょうか。

—「ものづくりのまち」としての一面もアピールできそうですね。

そうですね、藤田金属さんのフライパンをはじめ、工業製品が多いのは八尾市の特徴のひとつです。また、ミキハウスさんやシャープさんなど、全国的に知名度のある企業があるのも強みと言えるかもしれません。シャープさんは昨年10月から返礼品を提供いただいておりますが、非常に大きな反響がありました。

—寄付してくださった方からは、何か反応やコメントはありますか？

直接お聞きする機会はあまりないですが、「ふるなび」などのサイト上で口コミを拝見することはあります。「使って良かった!」というお声はもちろん、「コロナ禍で大変ですががんばってください」などの応援メッセージもうれしいですね。



数字で見る八尾市の「ふるさと納税」

■寄付金の実績	2008年度	22件	915,000円
	2014年度	157件	8,149,915円
	2020年度	7,898件	198,655,199円
	2021年度	約17,000件	約960,000,000円

■寄付者の居住地

1位	東京都
2位	大阪府
3位	神奈川県
4位	愛知県
5位	兵庫県

詳しくは、
八尾市の
サイトへ!



セメ子の攻め込み体験レポート

part9

「KSK」で、Tシャツプリントに挑戦!編

名産品の八尾枝豆をプリントした「枝豆Tシャツ」は、八尾市観光案内所のお土産自販機でも人気のアイテム。今回はその生みの親であるTシャツプリントショップ「KSK」にお邪魔して、シルクスクリーンの技法を使ったプリントを体験させていただきました!

最初の店舗は、近所の小学生の「居場所」に。

「出身は香川で、八尾には大学進学を機に来ました」というKSK代表の吉野さん。以前はプリント加工を行う企業の営業や医薬品卸の仕事をしていましたが「自分で作ってみたい」という思いが高じ、4年間学生生活を送った八尾で起業されました。

八尾を選んだ理由は「人もあったかいし、なんか安心感があつたんですよ」と吉野さん。その予想どおり、最初に構えた東太子の店舗には、近所の小学生たちがしょっちゅう遊びに来ると言います。「みんな人懐っこい子ばかりで、僕が店で朝まで仕事していると、パン持って来たついで〜!って勝手にシャッター開けて入ってくるんです(笑)」。子どもたちを通じて先生や保護者の方ともつながりができ、「ありがたいことに、よくオーダーもいただきました」と振り返ります。今でも当時のお客さんとは付き合いが続いており、さらに小学生だった子どもたちが大きくなり、店を訪ねてくれることもあるそうです。

また、八尾市内の企業からの発注が多いのも、地元愛の深い八尾ならではと言えます。「八尾の企業さんは、せっかくなら地元の業者に頼もうと思ってくださるところが多くて、わざわざ探して連絡をくださるケースもあります。まわりの方もすごく気さくに付き合ってください、僕は八尾が地元ではないですが、仲間に入れてもらったみたいでうれしいですね」。

代表 吉野圭介さん
香川県出身。デザインやイラストを得意とし、オリジナルも手掛ける。屋号の「KSK」は自身の名前が由来。秋にはWEBショップも開業予定。



HPがなくても、全国から依頼が舞い込む理由。

徐々にオーダーが増え、量産のスペースが必要になったことで現在の場所に移転。シルクスクリーンプリントを中心に、企業のOEMから団体・個人の依頼まで、幅広く対応しています。顧客は関西だけでなく、なんと北海道や九州にも。最近では珍しくHPやSNSでの発信はしていないにも関わらず依頼が舞い込むのは、「横のつながりのおかげ」と言います。「人には恵まれると思えます。もともと交友関係は広いんですが、学生時代の友達や先輩後輩、仕事関係の方など、多くのつながりのおかげでコロナの期間も乗り切ることができました」。

一度依頼してくれた方がリピーターになったり、他の方を紹介してくれたりするケースも多く、その理由を伺うと「しゃべりやすいのかな(笑)」と分析。「お客さんの中の漠然としたイメージを聞き出して、具体的なデザインに落とし込むのは得意かもしれないですね」。なるほど、要望を聞き出すヒアリング力と形にする提案力こそ、KSKの強みと言えます。

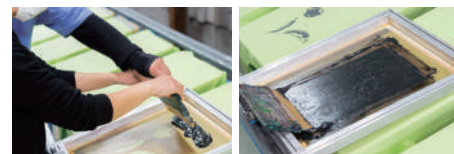
これまで培った経験を生かして、今後はオリジナルアイテムの販売にも力を入れたいという吉野さん。クリエイターやイラストレーターと共にWEBショップを準備中です。「完全オリジナルを出したいという気持ちが高まって。秋ごろにオープン予定なので、楽しみにしてください」。



「枝豆Tシャツ」のプリントを体験

1 吉野さんがデザインしたイラストから起こした版を使って、シルクスクリーンプリントに挑戦。「プリンターもありますが、この古い手法のほうが得意なので」と吉野さん。版の作り方やプリントの手法は、用途や素材などに合わせて最適なものを選ぶそうです。

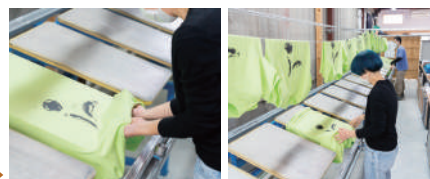
2 まずはインクの調合から。バインダー(糊のようなもの)に顔料を混ぜ、架橋剤(ポンドのようなもの)を入れます。絵の具と同様に数種類の顔料を混ぜて色を作ることもあり、お客さまごとに色帖を残したり、割合をメモしているそうです。



3 Tシャツに版を置き、インクを乗せます。スキージを少し斜めにし、最初はしっかり、次は少し軽めに滑らせるのがコツ。インクが乾かないようスピードも重要ですが、意外とこれが難しい…。プロは版の乾燥や目詰まりを防ぐため、インクを乗せておく「インク返し」をしながら刷るそうです。



4 恐る恐る版を持ち上げると…見事に枝豆柄がプリントされていました!最高に気持ちいい瞬間です。(ちなみに吉野さんは20枚のプリントなら、準備から刷り終わりまで20分程度で完了するとのこと。さすがプロ…!)



5 乾燥機で軽く乾かしたTシャツを作業台から外して、干していきます。作業台は粘着力があるのではがすのも一苦労。素材によってはプリントが歪むこともあるので、慎重に外していきます。



ようやく完成〜!今回はプリントだけを体験させていただきましたが、デザイン起こし、版の作成、作業台への着せ付け、インクの調合、乾燥機のセット、仕上げの乾燥…などなど、想像以上に工程が多い!でも「機械を使っても結局は人の目と手が重要だから気は抜けないし、少しでも手を抜くと仕上がりに差が出るので」とすべてを丁寧に、でもスピーディーにこなす吉野さん。その姿に、プロ魂を見せていただきました!

KSK ~オリジナルTシャツプリントショップ~

八尾市宮町4-4-11 2号室
[TEL]072-920-7789 [定休日]土・日・祝・その他
[営業時間]10:00~18:00



※緊急事態宣言等により営業時間が変更になる場合があります。

「河内庵」で、お豆腐づくりを体験！**編**

八尾のお豆腐屋さんと言えば、そう「河内庵」！定番から旬の素材を使った季節のお豆腐、お惣菜まで幅広い品揃えと、なによりもその美味しさで、多くのファンに愛されています。今回は工場にお邪魔して、こだわりのお豆腐づくりを体験させていただきました！

工場の中は、香ばしくてほのかに甘い大豆の香り。

河内庵の創業は1980年。先代の三好社長がサラリーマンから転身し、鐘を鳴らして軽トラで売りに回るところから商売を興しました。以来40年以上にわたり地元・八尾で愛され、現在は八尾市のふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

河内庵のお豆腐づくりは、極めてシンプル。大豆を水に浸してやわらかくし、そこに水を加えてすり潰した「生呉（なまご）」を煮込み、絞って豆乳とおからに分け、豆乳ににがりを入れて固めます。「作り方は昔のままですね」と、2代目として跡を継いだ永吉さん。工場内には、炊きあがった大豆の香ばしく、ほのかに甘い香りが漂います。

「大豆、水、にがりしか使ってないから」と素材には徹底的にこだわり、中でも一番大切にしているのが、お豆腐の味の要となる大豆。お豆腐の種類によって大豆の品種を使い分けますが、使用するのは国産大豆のみ。滋賀県や長野県など全国各地の産地から、問屋を通じてその時期に良いものを仕入れます。同じ品種でも、季節や気候によって状態が変わるため、「新物は水分が多いから使う量を増やして濃度を出したり、寒い季節は水に浸す時間をしっかり長めにしたり、一年を通じて味がかわらないように工夫しています」と永吉社長。大豆は農産物ですから、一年中いつも同じ状態なわけではありません。長年の経験で調整を加えることで、変わらぬ美味しさの「河内庵のお豆腐」を作り続けています。

代表取締役社長 永吉裕子さん

子供の頃から、両親を手伝って店に立つのが好きだったという永吉さん。「豆腐道」にける先代の志を受け継ぎ、安心・安全で美味しい豆腐づくりを守る2代目社長。



お豆腐にける愛情が、河内庵の美味しさの秘密。

河内庵のこだわりは、大豆だけにあらず。もうひとつ、お豆腐の味を決める大切な要素、それが「にがり」です。「安心して食べてもらえるようにと考えたら、やっぱり国産になりますね」と、河内庵ではにがりも国産を使用しています。「海水も南と北で違うから、どこの海で採れるかによって味が全然違うんです」と言い、お豆腐の種類に合わせてにがりも変えているとのこと。しかも、伊豆大島や室戸を産地とする天然にがりを選んでいます。素材も製法もシンプルだからこそ、良いものを選ぶ、それが河内庵の豆腐づくりなのだと感じました。

工場ではできたての豆乳を味見させていただきましたが、その美味しさは想像のはるか上。大豆の甘味がとても濃厚で、これまで飲んだ豆乳とはまったく別ものでした。大豆そのものの風味がしっかりと感じられ、良い素材を使っていることがストレートにわかります。

豆乳をしぼった後のおからは、こちらも工場内でお惣菜に活用。お惣菜もすべて手作りというから驚きです。厨房では卵の花やマーボー豆腐が調理されており、いい香りが漂います。「卵の花は家で作るとけっこう手間がかかるから、それならうち（河内庵）で作って美味しく食べてもらおうかなと思って」と永吉社長。せっかく良い素材を使っているの、廃棄をなるべく減らしたいという思いもあるそうです。素材を選び、手間を惜しまず、製品に愛情を込める。そのこだわりのすべてが、お豆腐の美味しさに現れていることを実感しました。

あれこれ体験！

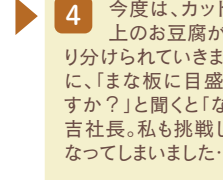
1 消毒をして風除室を通り、工場へ。一步中に入ると、マスク越しにも大豆のいい香りがわかります！最初に体験させていただいたのは、食べ切りサイズが人気の「小さな豆腐」の盛り付け。教えてくださったのは、勤務4年目で豆腐マイスターの資格を持つ椿原さん。



4 今度は、カットを体験。まな板の上のお豆腐が、均等に13個に切り分けられていきます。あまりの正確さに、「まな板に目盛りが何かあるんですか？」と聞くと「ないない（笑）」と永吉社長。私も挑戦しましたが、12個になってしまいました…。



5 こちらは、くみあげ湯羹。豆乳の上にできた膜を、指で丁寧につまみ、折り畳むようにして並べていきます。やわらかくてとろとろの湯羹は、もう見るからに美味しそう。でも当然ながら、この作業も熱いです！



3 続いては、丸い形のお豆腐「ひまわり」のシリリングに挑戦。バックをセットすると、フィルムが自動で掛けられていきます。このお豆腐は椿原さんの一押しで、水にさらさないで「味が濃くて美味しいんです」とのこと。



6 お豆腐を作る工程も体験。生呉が入ったずんどう鍋をかき混ぜます。これらもけっこう重くて大変…。生をつぶした状態は大豆の青臭さがありますが、火を入れると旨みが出て香りも甘くなるそうです。



こちらができたてのお豆腐です～！本当に「お豆腐が大豆からできている」ことを実感！いくつか食べ比べもさせていただき、大豆・水・にがりのシンプルな組み合わせなのに、それぞれに違う美味しさがあつて感動しました。とにかく素材の美味しさが際立っているの、何もつけなくても十分に美味しくいただけます。売り切れ必至の人気商品「河内美女」は、塩で食べるのもおすすめです！



手造り豆腐 河内庵

八尾市八尾木北5-119／TEL 072-993-0221

営業時間 9:30～18:30／定休日 日曜





「ケーワールドism」で、ボトルの組み立てに挑戦 **編**

プラスチックの加工を主な業務とし、自社ブランドも展開する「ケーワールドism」。この4月には、植物由来の素材を原料にした新商品がデビューするなど、注目を集めている企業です。今回は、「ふるさと納税」でも人気の高いデispenserの組み立てに挑戦しました。

SDGsを意識した、使い捨てないプラスチック

「ケーワールドism」の強みは、プラスチックの金型製造と、射出成型の技術を併せ持っていること。下請け企業として大手のモノづくりを支えると同時に、自社製品の開発にも力を入れています。

自社製品の第一弾として2017年に登場したのが、ガラスより透明度の高いアクリル素材を使ったシャンプーデispenserです。ガラスと違って浴室でも安心して使えるうえ、特許取得のポンプで液体を最後まで吸い上げられるのが特徴。見た目の美しさとエコな機能を持つこの商品は大きな話題を呼び、八尾市の「ふるさと納税」の返礼品としても人気を集めています。

自社製品開発の背景を、澤井社長は「プラスチック製品を廃棄物にしないために、長く使ってもらえる製品を作ろうと考えました」と語ります。開発に着手した2016年は、SDGsの認知度もそれほど高くなかった頃。脱プラが進む時代の先を読み、環境に配慮した製品開発に着手されました。

持続可能なモノづくりを目指す澤井社長は、より環境に配慮した製品の開発に乗り出します。今度は100%石油由来ではない素材を使うと考えましたが、素材選びは想像以上に大変だったと言います。「玉子やカキの殻などの原料を混ぜたバイオマス素材を試しましたが、ピンとくるものがなくて。なかなか製造に踏み切れませんでした」。

代表取締役 澤井健司さん

20歳で金型職人になり、その後成型の技術や知識を習得。「趣味を持とうと色々やっただんですが、やっぱり一番夢中になれるのは仕事ですね」と言う根っからの仕事人。



パナソニックの新素材と巡り合い、開発が一気に前進

そんな状況が一変、コーディネーターを通じて、パナソニックプロダクションエンジニアリング株式会社が開発する素材を試す機会に恵まれます。植物由来のセルロースファイバーを樹脂に混ぜ込んだその素材を試したところ、「これは今までにない、面白い」と直感。パナソニックと共同で、製品化を目指す日々が始まります。

特に苦労したのが、色の表現。顔料を混ぜて着色するのではなく、加工によって色を変化させるために、パナソニックの技術者と共に試行錯誤を重ねます。そしてついに、不純物を加えることなく、色を変える加工技術を確立。色味にわずかな違いはありますが、それも天然の素材ならではの魅力。「顔料を混ぜれば何万個でも同じものが作れますが、本物の木と同様に、自然な色の違いも楽しんでもらえたら嬉しいですね」。

デザインも素材の持ち味を生かすため、実際の木材を削って木目の出方を研究。よりリアルな表現を目指しました。「せっかく木から生まれた素材を使うんだから、なんちゃって木目じゃつまらないでしょ」と澤井社長。社員の方にも「プラスチックは慣れてますが、木を削るのは初めてです」と驚かれながらも、断面と平面の木目の違いなどを忠実に再現しました。

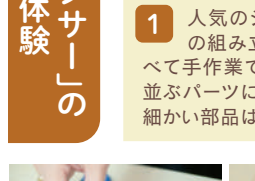
ようやく新製品が完成したばかりですが、澤井社長の目はすでに未来を向いています。「未知の領域に挑戦できるのが自社製品の魅力。挑戦する前から否定しては、進歩や発展はありません。小さな会社ですが、だからこそリスクを恐れず、道を切り拓いていきたい。そうして技術開発力を高めることが、BtoBのお客さまの役に立つと思っています」。

「デispenser」の組み立てを体験

1 人気のシャンプーデispenserの組み立てに挑戦。組み立てはすべて手作業で行われています。たくさん並ぶパーツにひるみますが、実はすでに細かい部品は組み立て済みとのこと。



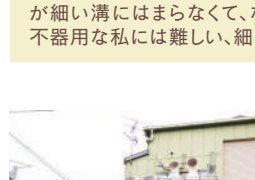
2 手に持っている小さなパーツが、「弁」の部分（こんなに小さいのに4つも部品が使われています！）。次に、これを組み合わせたパーツを筒に入れ、スプリングをセットします。粘性のある液体を引き上げるにはスプリングの強さがとても重要で、「何種類も作って試しました」と澤井社長。



4 蓋の内側にゴムパッキンを着けて、すべりを良くするためのシリコンを塗り付けて。ゴムが細い溝にはまらなくて、なかなか苦戦……。不器用な私には難しい、細かい作業が続きます



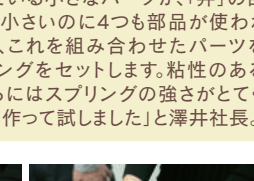
5 そして、底に溜まった液体をかき集めるための通称「プロベラ」を取り付けて、ポンプ部分ができあがり（このプロベラが特許技術！）。外からは見えませんが、すごく複雑な構造でびっくりしました。最後に、接着剤でヘッドを取り付けて完成です。



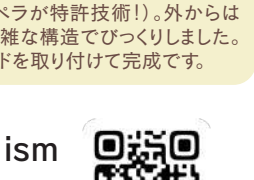
3 筒にスプリングと弁の部品を入れたら、次は金づちでたたいてしっかりとめしていきます。「強めにたたいてもらって大丈夫ですよ」と、組み立てを教えてくださいださる黒野雄二さん。でも割れそうで怖いんですが……。



できました～！今まで「押して出るのが当たり前」と思っていたが、ストレスのない押し心地で適量を出すために、どれだけの技術や工夫が必要なのかわかりました！澤井社長と黒野さんが「パーツひとつひとつに、思い出があります」とおっしゃるのも納得。他にも書ききれないほどの工夫が凝らされていて、皆さんのモノづくりへの熱いこだわりに感服しました！！







株式会社ケーワールドism

八尾市西高安町1丁目75番地の1

[TEL]072-924-5100



